令和5年度入学生用カリキュラムマップ

【建築学研究科 建築学専攻　修士課程】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
23MARC1110	建築設計インターンシップⅠ	1・2	建築設計の実務実習により、設計事務所で行われる様々な建築設計・工事監理関連の実務を体験し、建築設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、構造・設備設計者などと協働した建築総合化の手法など、建築設計・工事監理実務の全体像を理解することを目的とする。	建築設計・工事監理の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。		○	○	○			◎	○	○
23MARC2110	建築設計インターンシップⅡ	1・2	建築設計の実務実習により、設計事務所で行われる様々な建築設計・工事監理関連の実務を体験し、建築設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、構造・設備設計者等と協働した建築総合化の手法等、建築設計・工事監理実務の全体像をより深く理解することを目的とする。	建築設計・工事監理の実務にかかわるより実践的な知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を向上させ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。		○	○	○			◎	○	○
23MARC1160	建築構造設計インターンシップ	1・2	構造設計の実務実習により、設計事務所で行われる様々な構造設計・工事監理関連の実務を体験し、構造設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、建築・設備設計者等と協働した建築総合化の手法等、構造設計・工事監理実務の全体像を理解することを目的とする。	構造設計の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。		○		○			◎	○	○
23MARC1140	建築設備設計インターンシップ	1・2	設備設計の実務実習により、設計事務所で行われる様々な設備設計・工事監理関連の実務を体験し、設備設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、建築・構造設計者等と協働した建築総合化の手法等、設備設計・工事監理実務の全体像を理解することを目的とする。	設備設計の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。			○	○			◎	○	○
23MARC1180	建築施工管理インターンシップ	1・2	建築施工管理の実務実習により、施工現場で行われる様々な施工管理関連の実務を体験し、施工管理の実務内容およびそのプロセス、設計者・技能者等と協働した建築づくりの手法等、施工管理実務の全体像を理解することを目的とする。	建築施工管理の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。				○			◎	○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
23MARC1120	建築保存修復インターンシップ	1・2	建築保存修復の実務実習により、研究機関や工務店等で行われる様々な保存修復関連の実務を体験し、建築保存修復の実務内容およびそのプロセス、研究者・設計者・技能者等が協働した保存修復の手法等、保存修復実務の全体像を理解することを目的とする。	建築保存修復の実務にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。				○		○	◎	○	○
23MARC1119	建築設計実務	1・2	学内外の実案件を対象にした建築設計の実務実習により、建築設計・工事監理関連の実務を長期にわたって体験する。教員の指導のもと、建築設計や工事監理の実務内容およびそのプロセス、構造・設備設計者や施工者等の多くの専門家との協働の仕方や施工の状況を実地で学び修得することを目的とする。	建築設計・工事監理の実務にかかわる実践的知識を修得することにより、コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらの下で、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を身につける。これにより、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。		○	○	◎		○	○	◎	◎
23MARC1211	建築設計総合演習Ａ	1	原寸大の空間を共同で制作し、その原初的・直接的・身体的な体験により、図面や模型のみによる図式的、操作的な設計方法の矛盾を理解する。その理解に基づき、より高度で実践的な設計課題に取り組むことを目的とする。これにより、今後の実務実習において最低限必要となる実践的な設計能力を伸ばす。	住環境を、実在するモノと空間からなる存在として具体的に設計する能力の養成を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を修得し、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を培う。	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○
23MARC1213	建築設計技術演習Ａ	1	「建築設計総合演習Ａ」と連携し、設計課題を構造、環境・設備、施工等の技術面から検討し、諸要求に応えつつ、様々な制約条件を克服しながら建築空間として総合するための演習を行うことを目的とする。これにより、今後の実務実習において最低限必要となる実践的な技術・知識を学ぶ。	建築の安全性や快適性などを確保するために重要な、構造、環境・設備、施工に関する基礎的・先端的技術を修得し、理解した知識の統合により問題を解決する実践的能力を培う。	○	◎	◎	○			○	○	○
23MARC1210	建築設計総合演習Ｂ	1・2	国外に目を向け、その地域の歴史、風土、文化について深く考慮した建築を設計する。これによりグローバルな視座と歴史的価値観を養う。また、原寸大の空間を設計、制作する。その原初的・直接的・身体的な体験を通して、実際の材料に親しむとともに、図面や模型による図式的、操作的な世界と実際の空間との対応を体得することを目的とする。これにより、今後の実務実習等において必要となる実践的な設計能力を伸ばす。	住環境を、実在するモノと空間からなる存在としてより具体的に設計する能力の修得を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を身につけ、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力をより向上させる。	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎
23MARC1219	建築設計技術演習Ｂ	1・2	「建築設計総合演習Ｂ」と連携し、設計課題を構造、環境・設備、施工等の技術面から検討し、諸要求に応えつつ、様々な制約条件を克服しながら建築空間として総合するための演習を行う。これにより、今後の実務実習等において必要となる実践的な技術・知識を学ぶ。	建築の安全性や快適性などを確保するために重要な、構造、環境・設備、施工に関する基礎的・先端的技術を吸収し、習得した知識の統合により問題を解決する実践的能力をより向上させる。	○	◎	◎	○			○	○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
23MARC2212	修　士　設　計	2	５年半で修得した「真」「善」「美」の集大成として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、得られた新たな知見を空間構成として総合化し、その成果を建築設計にまとめプレゼンテーションする。これにより修士課程修了後、建築家として、社会で自律的に行動し、活躍する上で必要な高度知的専門職能を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合し、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。また人間的な住環境の形成のために、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○
23MARC2202	修　士　論　文	2	５年半で修得した「真」「善」「美」の集大成として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、得られた新たな知見に基づき論的展開を進め、その成果を学術論文にまとめプレゼンテーションする。これにより修士課程修了後、建築家として、あるいは専門家、研究者として自律的に行動し、活躍する上で必要な高度知的専門職能を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合し、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生するために重要な問題解決能力を実践的に修得する。また人間的な住環境の形成のために、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。	◎	○	○	○		○	◎	◎	
23MARC1322	建築家の職能と倫理	1	実務実習において実践的な設計実務を修得する上で重要な、一人の人格としての建築家の職能、社会的役割、責任、倫理、建築家を取り巻く社会問題に関する実践的な知識・能力を修得することを目的とする。	建築家を取り巻く社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を修得し、社会的義務と責任を重んじ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。							◎		
23MARC1324	建築計画マネジメント論	1	実務実習において実践的な設計実務を修得する上で重要な、建築や都市の計画・開発から設計・工事監理に至る幅広い業務に携わる専門家として必要な倫理と実務的な業務の流れを学ぶ。設計・工事監理業務を適正かつ円滑に進めるための、幅広くかつ実践的なマネジメント知識・能力を修得することを目的とする。	コスト、スケジュールなど様々な制約条件と、建築設計・工事監理を取り巻く社会の仕組みや現代社会の問題点を理解した上で、自律的活動ができる職能人として、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。				◎			◎	○	○
23MARC1326	建築設計計画論Ａ	1	文化的な建築や都市の設計を目指す観点から、景観、歴史、文化に対する基礎的・先端的・実践的知識を修得する。また建築家としての景観、環境に対する社会的責任を自覚しつつ、住環境の心象風景を構築するための実践的能力を養う。	建築や都市がもつ美的、歴史的、文化的価値と、国際社会、地球環境とのかかわりを理解するために必要な実践的知識を修得し、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を向上させる。			◎			◎		○	
23MARC1328	建築設計計画論Ｂ	1	安全、快適で文化的な建築や都市の設計を目指す観点から、人間の空間図式や行動とそれを取り巻く建築・都市空間にかかわる様々な研究手法、基礎的・先端的・実践的知識、および実践例を、人文・社会科学や数理科学を活用しながら学ぶ。	安全で機能的、かつ文化的な建築空間を設計するために重要な、人間行動と空間の関係にかかわる基礎的・先端的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を向上させる。		○	◎					○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
23MARC1361	建築構造設計論Ａ	1	建築設計における構造計画・構造設計は、建築の形態や空間に大きな影響を与えるとともに、建築の物理的存在を保証するものであり、その技術は建築技術者の素養として必須となっている。実務上における構造設計の体系や規範を学習し、建築設計における構造設計の重要性と、その基礎的技術を実践的に修得することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造設計にかかわる基礎的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する実践的能力を修得する。		◎							
23MARC1362	建築構造設計論Ｂ	1	より高度な構造システムや構造設計の実例を通して、現代建築に用いられている先端的な構造システムや構造設計を実践的に学ぶ。これにより、現代建築における構造設計の重要性と、その実践的技術を修得することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造設計にかかわる先端的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する実践的能力をより向上させる。		◎							
23MARC1341	建築環境設備設計論Ａ	1	建築設計における設備設計および環境計画の実例を通して、地球環境問題の解決と快適な生活環境の確保において、設備設計、環境計画が果たしている役割を学ぶ。これにより、今後の実務実習の意義を高める上で重要な、建築設計における設備設計や環境計画の重要性と、これらの基礎的技術を実践的に修得することを目的とする。	建築の機能性、快適性を確保するために重要な、設備設計と環境計画にかかわる基礎的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する実践的能力を修得する。			◎			○			
23MARC1342	建築環境設備設計論Ｂ	1	最新の建築設備や省エネルギー技術を取り入れた建築の実例を通して、地球環境問題の解決と快適な生活環境の確保という２つの問題を、設備設計、環境計画によって解決する実践的手法を学ぶ。これにより、低炭素時代における設備設計や環境計画の重要性と、これらの実践的技術を修得することを目的とする。	建築の機能性、快適性を確保するために重要な、設備設計と環境計画にかかわる先端的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する実践的能力をより向上させる。			◎			○			
23MARC1381	建築施工管理論	1	建築生産の流れや契約、積算、生産計画の立案、各工事の施工や施工管理の技術について実践的に学習する。適切な設計・施工計画を行う能力を身につけ、是正・予防措置についても理解する。これにより、施工管理等の実務実習に参加する上で重要な、実践的知識をあらかじめ修得することを目的とする。	コスト、スケジュールなど、建築生産、施工プロセスにおける様々な制約条件をより実践的に理解する。また自律的活動ができる職能人として、適切な設計・施工計画を進めることができる実践的能力を修得する。				◎			○		
23MARC1391	建築法規特論	1	建築・都市政策の最前線を受け持つとも言える建築基準法について、地域、まちづくりのための法規定を中心に、都市計画法や景観法等の各関係法令との連携も含めて実践的に学習する。これにより、実務実習の意義を高める上で重要な、建築法規に関する実践的知識をあらかじめ修得することを目的とする。	建築基準法および関係法令の実践的内容を修得する。その意義を踏まえて最適な空間を構成することにより、地域の歴史的、文化的価値を理解しつつ、社会的義務と責任を重んじ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。				○		○	◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
23MARC1401	建築フィールドワークⅤA	1	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、修士１年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的、実践的に学ぶ。またレポートの作成等を通して、見学対象をより深く調査、理解、考察する。	修士１年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、修得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成することを目指す。		○	○	○		○	◎	○	
23MARC1402	建築フィールドワークⅤB	1	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、修士１年後期の実務実習や演習、講義により学習する知識や技術についてより具体的、実践的に学ぶ。またレポートの作成等を通して、見学対象をより深く調査、理解、考察する。	修士１年後期の演習・実務や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、修得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成することを目指す。		○	○	○		○	◎	○	
23MARC2401	建築フィールドワークⅥ	2	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、修士２年の実務実習や演習、講義により学習する知識や技術についてより具体的、実践的に学ぶ。またレポートの作成等を通して、見学対象をより深く調査、理解、考察する。	修士２年の演習・実務や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、修得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成することを目指す。		○	○	○		○	◎	○	
23MARC1400	海外保存修復実習	1	海外において、保存修復関連の実習を体験し、建築保存修復の内容およびそのプロセス、研究者・設計者・技能者等が協働した保存修復の手法等を理解することを目的とする。	建築保存修復にかかわる実践的知識を理解することにより、社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。				○		○	◎	○	
23MARC1001	トルコ語	1	入門レベルのトルコ語文法の習得を目的とする。具体的には、基礎的な単語を覚えて、簡単な文をある程度自由に作ることができるようにする。また読む・聞く・話す・書くといった４技能をバランスよく学習する。	トルコ語を読み、書き、聞き、話すための基礎的能力を身につける。これにより、トルコ語を理解し、使うために必要な実践的能力を修得する。	◎								